



あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市花津留2-15-8
団体名 大分市表千家こども茶道教室実行委員会
代表者氏名 出田昌子
電話 097-558-7210
担当者名 
担当者連絡先 

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 こども茶道教室

2. 事業の概要 大分市内の小・中学生、高校生を対象に伝統の茶道文化の活性化（普及と継承）を目的に「こども茶道教室」を立上げコンパルホール茶室にて開講、月1回、茶道文化（合理的な精神・おもてなしの心）に触れていただき、お茶の点て方やいただき方、立ち居ふるまい等の作法やお点前（略盆点前、薄茶点前）を実技指導し、又、四季折々の節目や行事に因んだもの（床の間の掛軸、花・花入れ等）を取り入れて見て触れて感じる心豊かな感性と知識を身に付けるよう指導しながら子供達の情操教育や健全育成にも寄与できるよう茶道の普及継承活動をする。

3. 事業費 341,400 円

4. 交付申請額 195,700 円

5. 概算交付 概算交付を希望する。
 概算交付を希望しない。

※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類 (1) 団体調書（様式1-1、1-2）
(2) 事業計画書（様式2）
(3) 収支予算書（様式3）
(4) 団体要件・事業要件確認シート（様式4）
(5) 誓約書（様式5）
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

(i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団体名	(ふりがな) おおいたしおもてせんけこどもさどうきょうしつじつこういいんかい 大分市表千家こども茶道教室実行委員会				
住所	〒 870-0933 大分市花津留2-15-8				
代表者氏名	(ふりがな) いでた あつこ 出田 昌子	FAX (団体)	097-558-7210		
電話 (団体)	097-558-7210		E-mail (団体)		
設立年月日	平成17年6月	ホームページ	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	団体構成員数	12人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	6		その他の分野	13
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名			FAX	
	電話			E-mail	
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	伝統の茶道文化の活性化（普及と継承）を目的に小・中学生、高校生を対象に「こども茶道教室」にてお茶の点て方、いただき方、立ち居ふるまい等の作法やお点前、四季折々の節目や行事に因んだものに触れて感じる心豊かな感性と知識が身に付くよう実技指導し、情操教育や健全育成にも寄与できるよう茶道文化（合理的な精神・おもてなしの心）の普及継承活動をする。				
これまでの主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	令和4年	こども茶道教室		10回	167名
	令和3年	〃		2回	31名
	平成31年	〃		11回	247名
これまでに補助や委託を受けた実績	年度	補助（委託）元	補助事業名		金額
	令和4年	大分市	1%応援事業		152,217
	令和3年	〃	〃		61,400
	平成31年	〃	〃		165,065

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

● 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
こども茶道教室	こども茶道教室	月1回 第2土曜日 10時～ 13時	コンパル ホール 茶 室	200	10	341
小 計					10 (a)	341 (c)

● その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者 の予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
小 計					0 (b)	0 (d)

合 計	(a)+(b) 10	(c)+(d) 341
-----	---------------	----------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(a)+(b)	(c)/(c)+(d)
	100%(A)	100%(B)
全活動に占める公益的活動の割合 $\{ (A) + (B) \} \div 2 \times 100$ ※小数点以下は四捨五入してください。	100%	

事業計画書

事業名	こども茶道教室	
事業内容	主な対象者	大分市内の小・中学生及び高校生
	内容	<p>茶道文化の普及継承に「こども茶道教室」を立ち上げ開講、月1回（第2土曜日、10時～13時）年10回（5月～翌年2月）、コンパルホール茶室にて実技指導。立ち居ふるまい（おじきの仕方、座り方、立ち方、まわり方、歩き方等）、基礎割り稽古（ふくさ捌き、茶器茶杓の拭き方、茶筥通し、茶巾のたたみ方等）、客の作法（床の間の掛軸、茶花や花入れの拝見、お茶お菓子のいただき方等）に略盆点前、薄茶点前を実技指導し、四季折々の節目や行事に因んだものを取り入れ感じる豊かな感性と知識が身に付くよう指導、習得した茶道が日常的、将来的にも活かされ継承するよう育成する。</p>
事業スケジュール ※別紙添付可	時期（月） 5月 令和7年 2月	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生の募集 4月より口コミ、チラシの配布等で募集 5月以降も声掛けや見学体験等で募集し随時受け入れる ・5月11日（土）「こども茶道教室」開講 コロナ等防疫に対応し実施 茶道教室内容 茶室設え準備（9時～10時）実技（10時～12時）茶室茶道具類片付け（12時～13時）実技指導は講師12名で受講生を年長組と年少組に分けて茶室2室（14畳・8畳）にて実施 実技内容 席入り、床の間の拝見、立ち居ふるまい、基礎割り稽古、略盆点前、薄茶点前、お茶お菓子のいただき方の作法を亭主と客を交代しながら稽古 ・令和7年2月8日 終了式 式典並びに発表茶会（保護者参観）
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> チラシ、広報誌 <input type="checkbox"/> facebook等のSNS <input checked="" type="checkbox"/> その他（具体的に） コロナ禍以前と同様に受講した子供達の保護者や友人への口コミとチラシ配布のほか会員（講師）の友人知人、同好会への声掛けや口コミ、チラシの配布等々に見学体験を加えて広報活動をする。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	上記の広報手段により、受講生の確保に随時募集活動をして増員を図り目標定員数（延べ200人）達成と会費収入が確保できるよう努める。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統の茶道文化を教養として身につけて留学先や将来海外勤務で活かして有意義な国際交流ができる。 ・地域や校区内の催事、学校茶道合同茶会等で茶道を通して、地域区内外の皆さんと交流できる。 ・子供達（受講生）の成長過程の中で茶道（合理的な精神やおもてなしの心）を習得したことによって自然と身に付いたものが様々な場面や形になって役立つと思う。 	
新規事業・ 継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 <input checked="" type="checkbox"/> ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名： こども茶道教室

1 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	195,700	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	60,000	参加費 300円×200人
事業収入		
寄附金収入		
その他	85,700	会員負担金
合計	341,400	

2 【支出】

(単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	80,000	講師謝金1回(4H) 1,000円×8名×10回
旅費		
消耗品費	15,000	コピー用紙、マット紙、封筒、文具類、印画紙(写真)、プリンターインク、コロナ防疫用品(除菌液他)
燃料費		
食糧費		
通信運搬費	51,000	郵便料(葉書・切手) 2,000円 講師及び茶道具搬入搬出時 コンパル駐車料金 (車7台×700円×10回分) 49,000円
保険料	16,300	スポーツ安全保険料 800円×20名 手数料300円
手数料・委託費		
使用料・賃借料	50,100	コンパルホール使用料 40,100円 (茶室10回分、冷暖房料含む) 茶道具借料 1点50円×200点(10回分) 10,000円
原材料費	129,000	抹茶代 4,900円×5缶=24,500円 菓子代 250円×350個=87,500円 茶筌代 1,600円×5本=8,000円 紙茶巾代(20枚入り) 350円×20袋=7,000円 懐紙代 400円×5束=2,000円
備品購入費		
合計	341,400	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。